

石油製品(2)の水分測定[エンジンオイル]

関連業界	:	石油
使用装置	:	カールフィッシャー水分計
測定手法	:	容量滴定法 (気化法)
関連規格	:	JIS K 0113-1992, ISO 760:1978, ASTM E 203-96

1. 概要

エンジンオイルの水分を、JIS K 0113-1992電位差、電流、電量、カールフィッシャー滴定法通則にもとづき、容量滴定法で測定する。原料油から造られる石油製品には、非常に多くの種類のものがある。エンジンオイル・モータオイル・油圧オイルなどの潤滑油は、種々の添加物が加えられているためカールフィッシャー滴定を妨害する。エンジンオイルなどの水分測定は、通常、油用水分気化装置を用いて150℃前後の温度で蒸発させた水分を不活性ガスで脱水溶剤に導いて、滴定する。溶剤には、メタノールとエチレングリコール1：1の混合溶剤か、または市販の脱水溶剤MEを用いる。

2. 装置構成

本体	:	容量滴定方式 カールフィッシャー水分計
電極	:	KF 用双白金電極
オプション	:	油用水分気化装置

3. 試薬

滴定液	:	コンポジット 2 RdH 社製
脱水溶媒	:	脱水溶剤 ME 林純薬製

4. 測定例

試料名	試料採取量 (g)	溶剤	気化温度 (℃)	水分値	
				mg	%
エンジンオイル	4.416	脱水溶剤 ME	150	1.72	0.039

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>